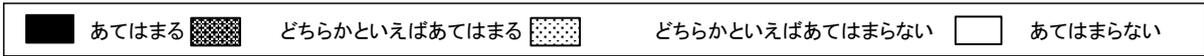


# 令和4年度 岩倉中学校 学校評価(生徒・保護者・教職員アンケートの結果と考察)



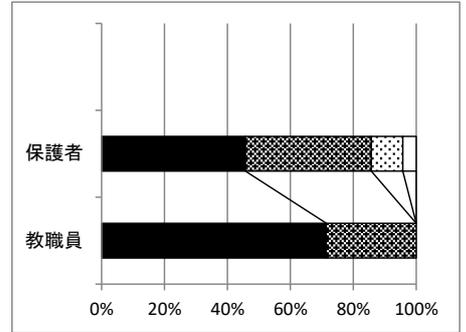
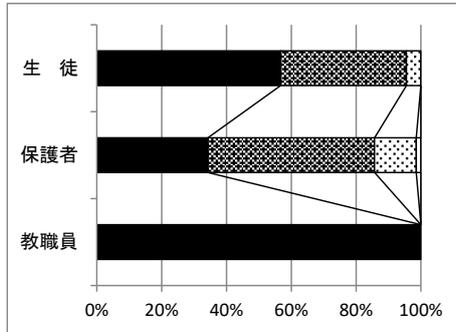
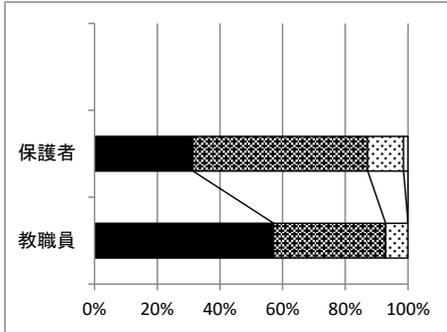
調査回答者数 生徒:68名, 保護者:67名(PTA戸数67戸), 教職員:14名 ※回収率98%

## 1 学校に関する項目

【1-1】 学校は、授業や諸行事等、教育活動がよく公開されている。

【1-2】 魅力ある学校行事(体育祭・文化祭・合唱コンクール等)が行われている。

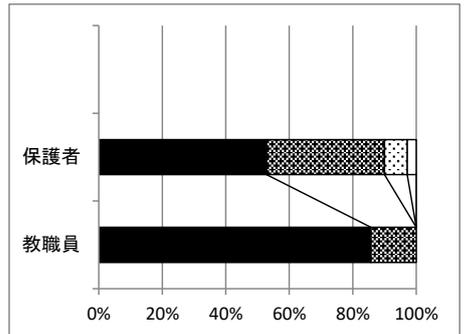
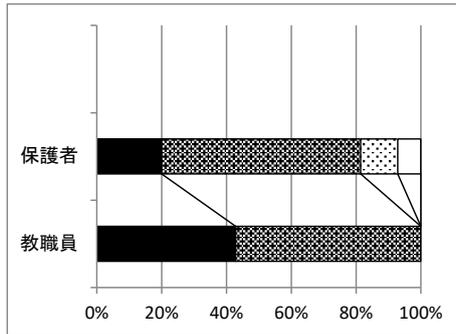
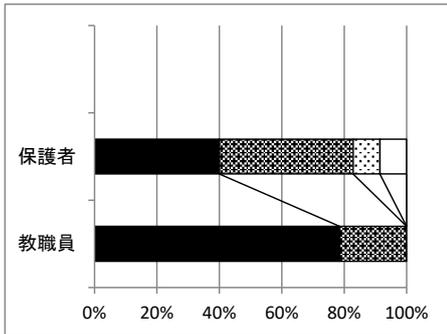
【1-3】 学校は、家庭への連携を積極的に行っている。



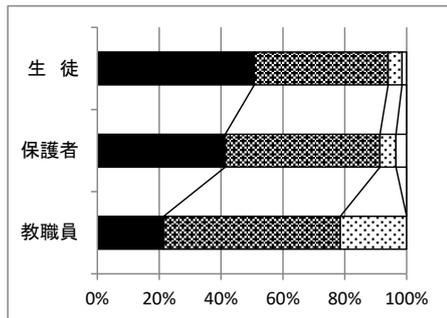
【1-4】 学校は、問題が生じた場合など、迅速に対応できている。

【1-5】 PTA活動など、家庭と学校の協力関係がある。

【1-6】 学校訪問者(保護者も含む)に対して、教職員の対応はよくできている。



【1-7】 学校の施設・設備は、安全で快適に生活できるように整えられている。

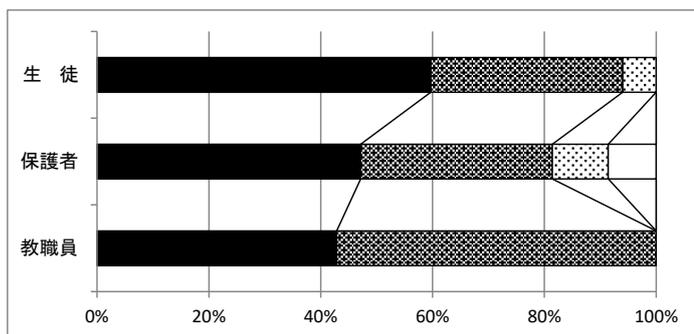


学校評価のアンケートは、保護者に加えて生徒および教職員にも実施しています。評価の項目については、生徒・保護者・教職員に対して、それぞれ同じ内容を質問し、比較できるようにしています。また、評価については、4段階の回答とし、設問に対して肯定的か否定的かの判断ができるようにしています。

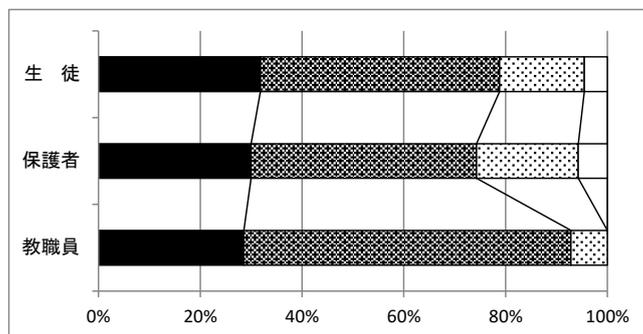
1 学校に関する項目に対しては、全体的に生徒・保護者ともに「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」が80%を超えており、学校の取組を概ね肯定的に捉えています。特に、【1-6】の保護者では、「あてはまる」の割合が昨年度より5ポイント上がっています。しかし、【1-5】の保護者では、肯定的な回答が80%以上あるものの「あてはまる」の割合が昨年度と比較すると20ポイント下がっています。家庭との連携が円滑に図れ、学校内におけるコロナ禍も含めてさまざまな問題に対応している学校の取組を肯定的に理解してくれている様子が分かりますが、コロナ禍の中うまく連携が図れていなかったことも否定できません。これまで以上に丁寧な家庭や地域との連携に努め、理解と協力を得ながら学校運営を向上させていこうと思います。

## 2 子どもに関する項目

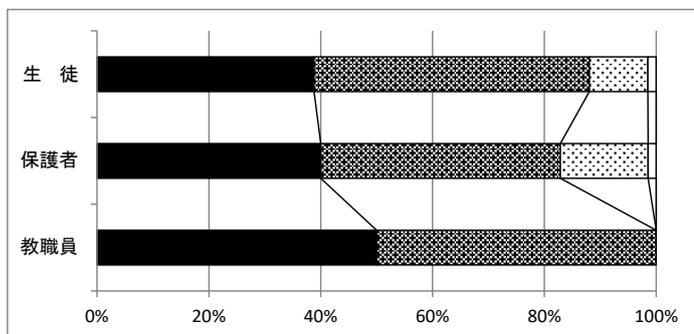
【2-1】子どもは、学校生活を楽しいと思っている。



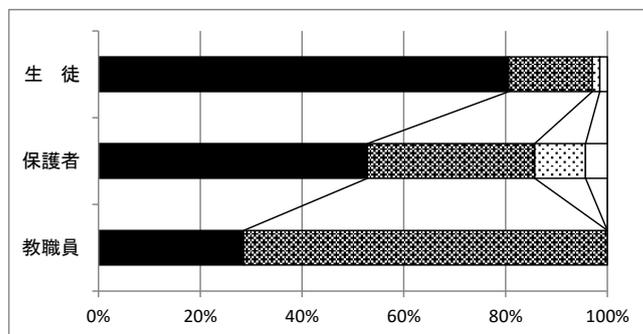
【2-2】子どもの学習意欲は向上している。



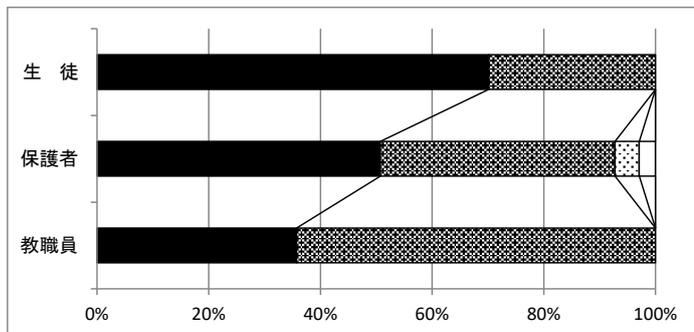
【2-3】あいさつなど社会的なマナーが身についてきている。



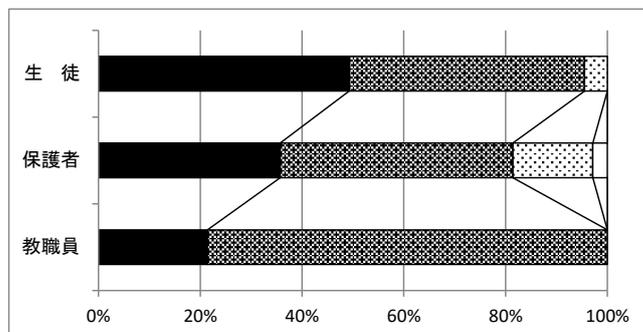
【2-4】子どもは、よい友人関係を作っている。



【2-5】他人を思いやる、命を大事にするなど、子どもの豊かな心が育ってきている。



【2-6】基本的な生活習慣が身についてきている。

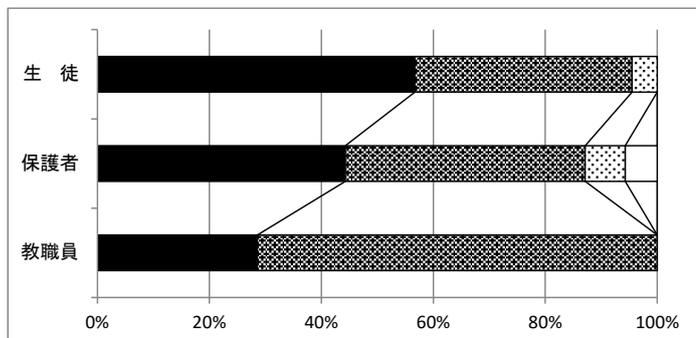


2 子どもに関する項目では、生徒・保護者とも「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の評価が多いことが分かります。また、教職員の評価も、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の割合が昨年度より高くなっています。【2-1】の質問について、生徒・保護者・教職員ともに昨年度から「あてはまる」の割合が増えています。特に生徒では14ポイントも上がっています。学校生活が充実し、人間関係も良好な生徒が増えていると考えます。また、【2-2】の質問について、約80%の生徒は肯定的に捉えています。昨年度から取り組みを続けている「大学連携学校力向上事業」の成果が現れていると考えます。しかし、学力に関しては、二極化の傾向が強くなり、引き続き来年度も学校の課題として、学習意欲の向上に向けて指導・支援していきたいと思っております。また、【2-4】の生徒は昨年度より「あてはまる」の割合が23ポイント上がっていますが、保護者は昨年度より数ポイント下がっています。さらに、よりよい人間関係づくりの向上を図っていく必要があると考えます。

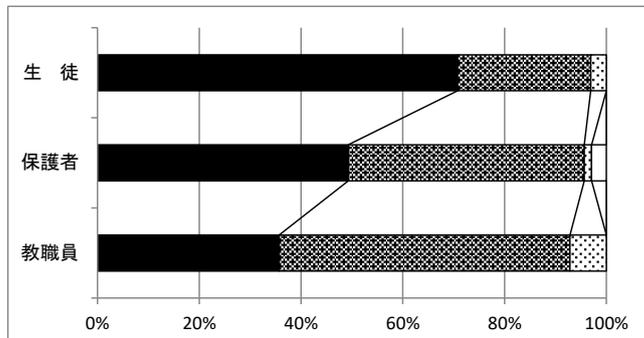
昨年度の調査と比較してみると、それぞれの質問について、肯定的な評価ができていますが、学習意欲や社会的なマナーの習慣については、さらに向上に努めなければいけないと感じます。学校全体の授業改善を図り、学ぶ意欲やよりよく生きていこうとする資質や態度を育てていこうと考えています。

### 3 教員に関する項目

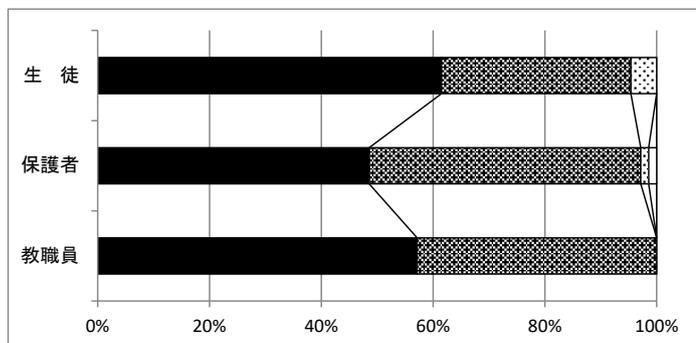
【3-1】先生は生徒(保護者)の意見, 相談をきちんと聞いてくれる。



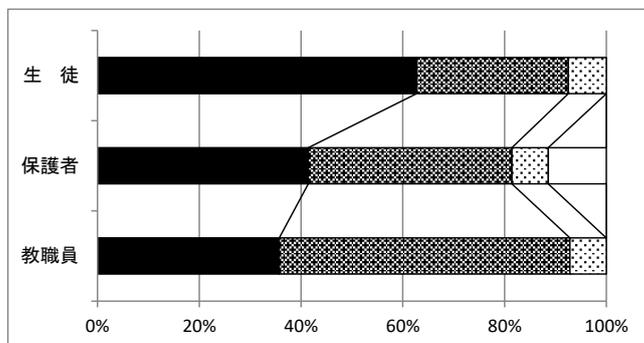
【3-2】先生は子どもの安全指導に努力している。



【3-3】先生は教室環境, 学校環境の美化に努めている。



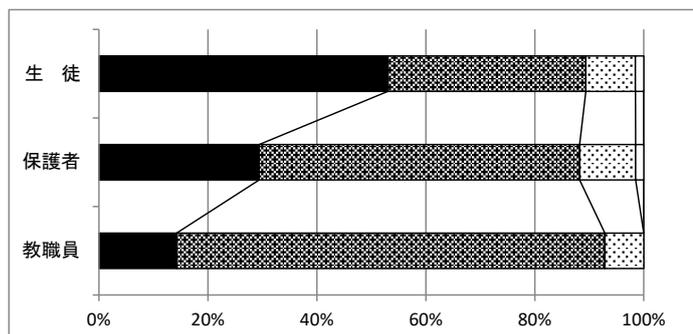
【3-4】先生は子どもたちの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。



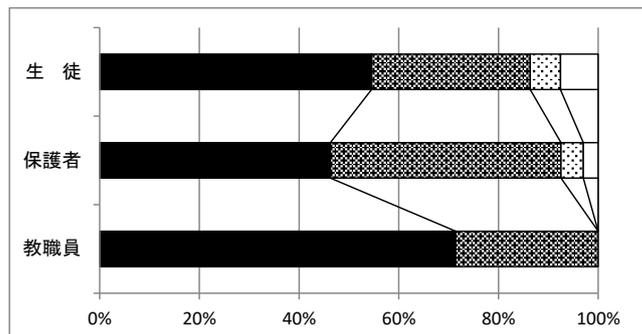
3 教員に関する項目では、教職員の取組に関して、生徒はすべての質問に対して「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の肯定的な評価が90%を超え、高い評価を表しています。【3-1】については、「あてはまる」が数ポイント上がっており、【3-4】の保護者では昨年同様80%を超えています。生徒と教師間の信頼関係も良好であり、生徒が安心感を持って過ごしている様子が伺えます。ただ、【3-4】について、保護者の「あてはまる」の割合が昨年度よりも低くなっています。学校の人権教育や命を大切にする学習への取組を理解してもらえるように学校からの発信が必要であると感じます。今後も、生徒や保護者との信頼関係づくりに努め、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう指導・支援の充実を図っていくとともに、保護者や地域に学校の取組を理解してもらえるように発信にも力を入れていきたいと考えています。

## 4 授業に関する項目

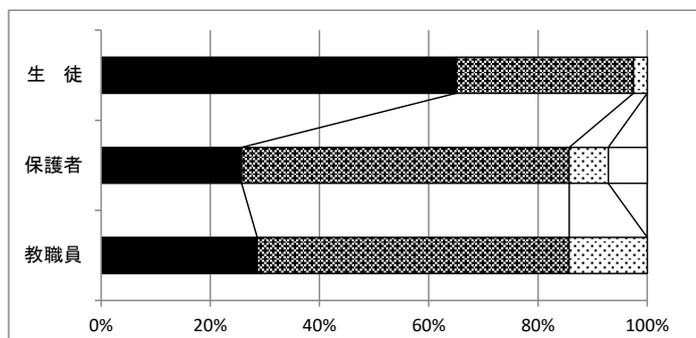
【4-1】 指導方法を工夫し、わかりやすい授業が行われている。



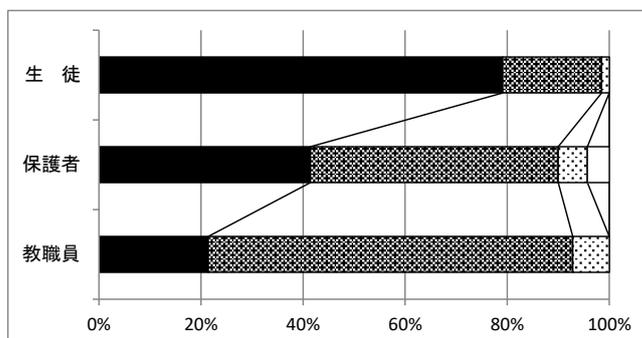
【4-2】 教科によって授業を2名の先生で行っていることは、学力向上に役立っている。



【4-3】 授業や家庭学習(宿題、学習内容の復習など)にICTを有効に活用している。



【4-4】 「命の大切さ」や「人権」についての学習が十分行われている。



4 授業に関する項目については、生徒は、概ね肯定的な評価が表れています。保護者もわかりやすい授業づくりを肯定的に捉えてくれています。【4-1】では、昨年度と比較すると「あてはまる」と回答した生徒が5ポイント上昇、【4-2】でも、5ポイント高くなっています。T、Tによる学習指導について改善が図られた結果だと考えます。【4-3】の結果が示しているように、昨年度から本格始動した「徳島県GIGAスクール構想」の実現を踏まえた実践においては、昨年度よりポイントが上がっており、昨年度の課題を生かし、オンライン授業や授業の振り返りなどで、「1人1台端末」の有効的な利活用が図られた結果だと考えます。しかし、教職員は「あてはまる」のポイントがあまり伸びておらず、来年度に向けてさらにICTを活用した授業改善に努めることで、生徒の学力向上をめざしていきたいと思えます。【4-4】については、90%以上の生徒や保護者が肯定的に捉えています。人権や命の大切さについての学習は、これからも学校全体で積極的に取り組んでいきたいと考えています。